



ものづくり体験教室



11月27日(土)、テオトルの多目的ホールでものづくり体験教室を行い、県職業能力開発協会より派遣された“ものづくりマスター”2名にLED回転ライトの製作について指導していただきました。

最初に、ものづくりマスターの1人は小学校高学年から電子工作を始めて50年以上もの間、電子機器にかかわっていることを聞きました。また、あのアップルも“ものづくり”が大好きな2人が小さな車庫から始めた会社と聞き、電子機器にはクラブ員の年代から興味がわくようなおもしろさがあるのだと思いました。

次に、身近なところにLED機器(家庭では照明器具やリモコン、外では信号機や工事用の回転灯)はあり、今や現代の生活になくてはならないものだということを学んで、点灯実験も行ってみました。



みんなの目が輝いているね



早く組み立てたいなー



がんばるぞっ



1番早く完成したよ!



上手になってきた♪



またやってみてね



はんだづけハマるね〜

みんなバッチリできました!

楽しかったー

いよいよ組み立てを始めると、クラブ員はピンセットを上手に使い抵抗器の足を折り曲げ、プリント基板に差し込んでいきました。はんだ付けの作業に入ると夢中になって次々に取り付けていきます。ほとんどのクラブ員が初めての体験にもかかわらず、どんどん上達しているようでした。少し難しい部分もありましたが全員点灯し、見事完成させることができました。マイナスドライバーで可変抵抗器を回すと、回転の速さを調節できることも分かりました。

この体験教室を通して、ほとんどの電子機器には「プリント基板」が組み込まれ、「部品と部品に電気が流れるようにはんだ付けをする」という作業の役割を知ることができました。